

王族の死と国民の反応

エリザベス女王母の死去

2002.4.19

札幌たの授サークル用研究レポート

仮説実験授業研究会・北海道

丸山 秀一

[質問]

2002年3月30日、英女王の母がなくなりました。彼女のことを日本の報道各社は「英皇太后」として報道しました。

昭和天皇が死去したとき(1989)、マスコミは「天皇崩御」と報道しました。崩御とは「天皇・皇后・皇太后・太皇太后の死去を表す尊敬語」(『国語大辞典』小学館)のことです。

では、今回日本の報道各社は「英皇太后が崩御」と報道したのでしょうか。

予想

- ア すべて「崩御」と報道
- イ 一部のマスコミが「崩御」と報道
- ウ 「崩御」と報道したマスコミはない

日本のマスコミの表記

日本のマスコミで「崩御」という言葉を使っているところはありませんでした。つまり「英皇太后」と呼ぶものの「尊敬には値しない」というわけなのでしょう。産経新聞は最初「逝去」という表現を使っていましたが、それもすぐに「死去」という言葉になりました。

皇太后とは「天皇の生母で、先帝の皇后」(『国語大辞典』より)の意味です。英王室には天皇や皇帝はいませんし、憲法上天皇は「日本の象徴」であり王ではありませんから、戦前ならともかく、現憲法下で 呼称を日本の皇室になぞらえること はおかしいと思うのですが、どうでしょうか。

「英皇太后」は正式な英語では、**Her Majesty Queen Elizabeth The Queen Mother** (エリザベス女王母)です。それを日本の新聞が「皇太后となってからも国民から変わらぬ敬愛を集め クイーン・マザー として親しまれた」と報道しているのはこっけい です。愛称は「Queen Mum」でしょう。

[質問]

日本の皇太后が 2000 年に死去したとき、日本のマスコミは「崩御」と報じたと思いますか。

予想

- ア 「崩御」と報道
- イ 「死去」と報道
- ウ 別な言葉で報道

「崩御」ではない?!

皇太后死去の際、日本のマスコミ各社は「皇太后さまご逝去」と報道しました。「崩御」の言葉は使われなかったのです。皇太后の死去に崩御という言葉を使ってはいけないのでしょうか。そんなことはありません、宮内庁では「崩御」としているのです。

では、どうしてマスコミは崩御という言葉を使わなかったのでしょうか。

[質問]

では 1989 年昭和天皇が死去したとき、マスコミ各社は「崩御」とだけ報道したのでしょうか。

予想

- ア ほとんどが「崩御」と報道
- イ ほとんどが「逝去」と報道
- ウ そのほか

「天皇陛下崩御」

新聞記事の見出しで調べると、読売新聞は「天皇陛下崩御」と報道しましたが、毎日新聞では「天皇陛下ご逝去」という記事も多くなり、朝日新聞ではほとんどの記事が「天皇陛下ご逝去」というものでした。

崩御という言葉は、ふつうに使う言葉ではありません。そういう言葉をことさら強調すると、なにか天皇が特別な人のような感じがしてしまうことでしょう。しかし敗戦後天皇は「人間宣言」をして「日本の象徴」となりました。そこでマスコミも多くは崩御という言葉を選んだのでしょう。

[質問]

「英皇太后」死去に際して、欧米のマスコミは「崩御」にあたる特別な言葉を使ったと思いますか。それとも英語には「崩御」のような「王の死を表す特別な言葉」はないのでしょうか。

予想

- ア 「崩御」と報道
- イ 「崩御」という言葉はあるが使わなかった
- ウ 「崩御」という言葉自体がない

英語での「崩御」

英国は、日本よりずっと階級社会です。しかし英語には「崩御」のような「王族の死を表す特別な言葉」はありません。「英皇太后」の死も「death, dead」といったふつうの言葉で報道されています。また「死」を間接的に表現する「passed away」もよく使われていますが、この言葉も誰にでも使える言葉です。

[質問]

昭和天皇が死去したとき、テレビ各局は民放までが通常番組を中止し、CM を入れずに特別番組を二日間に渡り放映し続けました。しかし、皇太后死去のときには、短い特別番組が放映されただけでした。

では「英皇太后」が死去したとき、英国のテレビ局はどんな反応を取ったと思いますか。そして、その反応はBBC(日本のNHKに相当)と民放では違っていたでしょうか。

予想

- ア BBC も民放も特別番組を一日中放映した
- イ BBC だけが特別番組を一日中放映した
- ウ 民放だけが特別番組を一日中放映した

BBC と民放の対応の違い

「英皇太后」は 3 月 30 日午後 3 時 15 分に死去し、王室はその死を午後 5 時 50 分に正式に発表しました。午後 5 時 49 分 BBC-1 チャンネル（以後 BBC1 と表記）の画面は室前消え、数秒後に翻る王旗が映し出され、国歌が流されました。そして、女王母の死が発表されたのです。それからの特別番組は、夜 9 時半で終了し、その後は通常番組に戻りました。BBC2 の特別番組も夜 6 時過ぎに終了。あとは NEWS24 というニュース専門のチャンネルに任せたのです。

これに対し、民放各局は死去の正式発表後のすべての通常番組を取りやめて、その日はずっと特別番組を流し続けました。

BBC ラジオ 1 は通常放送のままでしたが、BBC ラジオ 2～5 は特別番組を報道の後、通常番組に戻りました。但し、パンク音楽の番組は中止になりました。民放ラジオ局は、通常番組をすべて中止して、厳粛な音楽を流し続けました。

また死去の報道の際 BBC のアナウンサーは、礼服を着ていませんでしたが、民放各局のアナウンサーは礼服を着ていました。



英国（女）王旗

by Vincent Morley
(FOTW)

[質問]

1997年にダイアナ「皇太子妃」が死去したとき、英国の放送メディアはどんな反応をしたと思いますか。「英皇太后」死去のときと比べてどうでしょうか。

予想

- ア 同程度の取り上げ方だった
- イ ずっと大がかりな取り上げ方だった
- ウ もっと小さくしか取り上げなかった



エリザベス女王母個人旗

by *Graham Bartram (FOTW)*

左部分は夫のチャールズ王旗、右が彼女の家の紋章。紋章が示すとおり、スコットランド系（祖先がスコットランド王室）である。

プリンセス・ダイアナ

ダイアナ妃が 1997 年に死んだとき、英国のすべての放送メディアは、一日中特別番組を繰り返して報道しました。ラジオからは、鐘の音と厳粛な音楽を流し続けました。日本での天皇死去のような状態だったのです。

BBC は当初、「英皇太后」死去の際は「1 週間の特別番組」を計画していました。しかし、ダイアナ妃死去の際の過剰な反応を「やりすぎだった」と認識していた BBC は、「国民も王室も、王族の死に過剰な反応を求めてはいない」と判断し、「英皇太后」死去の際の特別番組をダイアナ妃のときと比べて大幅に縮小したのです。「101 歳で天寿を全うした女王の母の死と、不慮の事故により若くして亡くなったダイアナ妃のどちらに国民は多くの関心を持っているかは明らかだ」と判断したのです。

この判断は正しかったでしょうか。

[質問]

特別番組の放送当日、BBC には視聴者から抗議の電話が 百件かかってきました。その抗議の内容はどんいうものが一番多かったと思いますか。

予想

- ア 「通常番組を変更するな」
- イ 「礼装でないのは不敬だ」
- ウ 「特別番組をもっと放送しろ」

国民の反応 1

当日 BBC に寄せられた抗議電話のうち約 700 件は、通常番組を変更したところについての苦情でした。「王室に対して不敬だ」という抗議もありましたが、それは 0 件だけでした。BBC の予想は、間違っていないかったです。

[質問]

では BBC のこのような報道姿勢について、王室はどんな反応を示したと思いますか。

予想

- ア ノーコメント
- イ 「適切な報道だった」
- ウ 「不敬な報道だった」



ウィンザー城に献花に
訪れるひとたち
「SUN」紙より

王室の反応

王室は BBC に対して「不敬だ」と抗議しました。「ニュースキャスターが礼服を着用せず，特別番組が短すぎ，王族へのインタビューが執拗だった。これらは王室に対する不敬行為である」とチャールズ「皇太子」は，不満のコメントを述べました。「BBC への懲罰」として彼は，女王とも相談の上，それまで BBC にのみ許されていた「王室の代表取材」から BBC を外し，ほかの民放テレビ局に許可を与えました。

また民放各社も BBC の報道について「通常放送に戻ったすぐあとの番組にセックス・シーンがあって不敬だ」などとして批判的な報道をしました。

[質問]

どうして BBC のアナウンサーは礼服を着なかったのだと思いますか。

予想

- ア 社内規定がそうだったから
- イ 礼服の用意をしていなかったから
- ウ そのほか

BBC の方針

BBC は王室報道に際し、「普段着の報道」を目指してきました。また内部規定により、「女王死去の際は、全期間礼服を着用。女王以外の王族死去の際は、葬儀当日のみ礼服を着用」と定められていたのです。「英皇太后死去」の当日、アナウンサーは礼服を用意していましたが、上司はそれを着用するようにという指示を出すことはありませんでした。

もっとも、BBC は常に「アナウンサーは正装のこと」と指示していましたから、当日のアナウンサーも礼服は着ていなかったにしても、ラフな格好だったというわけではありません。

BBC は、王室に対する国民の関心が低下していることを反映していたのです。

[質問]

では、こういった BBC の報道姿勢に対して、英国民の反応はどうだったのでしょうか。BBC の特別番組の視聴率は最大でどれぐらいだったと思いますか。

2001 年 10 月 7 日の「米国よるアフガン空爆」の特別番組のときの視聴率は約 20%でした。

予想

- ア 40%ぐらい
- イ 20%ぐらい
- ウ 10%ぐらい
- エ そのほか

国民の反応 2

BBC の特別番組の瞬間最大視聴者数は約 600 万人で、英国人口 6000 万人の一角、つまり 10%の視聴率で、これはアフガン空爆のときの半分に過ぎませんでした。BBC が予想した「国民の関心度」は間違っていないかったです。

今回の「皇太后死去」に関する報道でも、たくさんの人々が献花する様子や弔問のため行列する様子などが報道されました。しかし、報道は往々にして「あったこと」のみを報道し、「なかったこと」は報道しないものです。ですから、今回の事件でも、「多くの国民は皇太后死去に影響を受けていない」という報道はほとんどされることがありませんでした。

[質問]

王室、政府、議会は死去から葬儀までの約 1 週間を「服喪の期間」とする方針を発表しました。その内容にはどんなものがあつたでしょうか。

- [] 宮殿や官庁に掲げられる旗を半旗とする
- [] スポーツの試合は中止か延期
- [] スポーツ競技の選手は喪章をつける
- [] スポーツ競技は開始時に黙祷をする
- [] 映画や劇場などでは国歌を演奏・黙祷をする
- [] 葬儀時間帯のイベントの禁止
- [] 学校では特別授業を行う

服喪の方針

これらは、みな実際に「服喪の方針」に含まれていたことです。その方針は半旗掲揚を除いて「王室と政府は 期待する、提案する」という表現で書かれています。記帳簿は、女王に渡された後、王認公文書館に保管されます。また「女王に弔意を表す手紙の書き方」までその方針にはあり、「書き出しは 拝啓、最後は 光栄に存じます。あなたの従順な臣民より」と書く」とまで載っていました。これ以外にも、BBC は宝くじ抽選会の放映を中止、また臨時国会が召集されました。

[質問]

昭和天皇が死去したとき、日本政府はどんな服喪の方針を発表したでしょうか。英国政府が「皇太后死去」で出した方針と比べてどうだったと思いますか。

予想

- ア 同じような程度の内容
- イ もっと大がかりな内容
- ウ もっと簡略な内容



英国国教会も半旗掲揚
「BBC News」より

日本政府の方針

昭和天皇死去の際，政府は次のような措置を決めました。

- (1) 各省庁では亡くなられた当日を含め 6 日間，弔旗を掲揚し，公の行事や儀式，歌舞音曲を伴う行事を差し控える。
- (2) 地方自治体に対しても当日を含め 6 日間，政府関係機関と同様の哀悼の意を表するよう協力を要望する。
- (3) 地方自治体以外の公的機関や民間会社，一般国民に対しても当日を含め 2 日間，哀悼の意を表するよう協力を要望する。

このように英国政府の方針と比べると随分簡単なものでした。

[質問]

「英皇太后」に対する弔意の取り組みは，英連邦諸国でも行われたのでしょうか。半旗掲揚や記帳などをしたと思いますか。英国から分離独立したアイルランド（英連邦ではない）ではどうだったのでしょうか。

- () オーストラリア
- () ニュージーランド
- () カナダ
- () アイルランド

弔意を表す国

これらの国では、みな半旗が掲げられ、記帳が実施されました。オーストラリアとニュージーランドは、まだ国旗にユニオンジャックが入っていることから考えても、英国とのつながりも強いのでしょうか。国旗を変更したカナダでも、スポーツの試合で英国国歌を斉唱したりもして、まだ強いつながりがあるようです。

アイルランドは、英国と対立の歴史があり、英連邦に所属していないのにも関わらず、これらの国々と同等の弔意を見せています。

では、他の英連邦諸国などの反応はどうだったのでしょうか。

[質問]

英連邦加盟国（53 カ国）で、国家元首が葬儀に参列した国はどれぐらいあったと思いますか。

予想

- ア ほとんど全部（40 カ国以上）
- イ 半分ぐらい
- ウ 少しの国しか参列しなかった（ カ国以下）



記帳をする英国民
（BBC News より）

英連邦の謎

英連邦諸国で葬儀に国家元首が参加したのは、首相が参列したオーストラリア、カナダ、ニュージーランドと、国王（スルタン）が参列したブルネイだけです。

英連邦は、「英国王を形式的な共通の王」とする元英国植民地の集合体ですが、その結びつきは弱いものなのです。

[質問]

葬儀には、各国の王が参列しました。では、天皇も参列したと思いますか。日本代表として参列したのは、誰だったのでしょうか。

予想

- ア 天皇
- イ 天皇以外の皇族
- ウ 首相
- エ 駐英大使



半旗掲揚のバッキンガム宮殿（ANANOVA より）

諸国の反応

日本を代表して参列したのは、駐英大使です。皇族は誰も参加していません。

葬儀に参加した国王は次の通り。スペイン、スウェーデン、ギリシャ、ルーマニア、ノルウェー、デンマーク、ブルネイ、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク(大公)、リヒテンシュタイン(公)

王以外の国家元首の参列も、英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド首相とアイルランド大統領だけでした。

[質問]

4月3日に、休会中の英国議会は弔意を表すために臨時招集されました。国会(下院)議員の出席率はどれくらいあったと思いますか。

予想

- ア ほぼ 100%
- イ 7~8割ぐらい
- ウ 5割ぐらい
- エ もっと少ない



棺の移動を見るために集まった 40万人の群衆 (AFP)

国会議員の関心

臨時国会に参加した議員は、総数の半数しかいませんでした。さらに、閣僚も6名が欠席しました。多くの議員は「皇太後の死は大きな事件ではない。自分は選挙区にいた方が仕事ができる」という判断をしたのです。また与党の労働党は議員の大半は、「この臨時国会で中東和平についての討議」を要求したのにも関わらず、政府が拒否したことに対する「抗議の欠席」でした。政府は「甲意を表す場での討議はなじまない」と判断したのです。

労働党はまた「無理に議員を出席させることは、旅費の無駄遣いである」として党員の出席を強制しませんでした。党員へ出席を指示したトーリー党ですら、6割の出席しか得られなかったのです。

英国の議員は個人の意志で動いていることがよくわかる出来事でした。

[質問]

死去報道を大幅に縮小したBBCは、葬儀の報道も縮小したでしょうか。また礼服を着用したと思いますか。

予想

- ア 葬儀報道も死去報道と同程度だった
- イ 死去報道よりさらに縮小した
- ウ かえって拡大した

葬儀報道は拡大

1500 件を超える「葬儀のために番組を変更するな」という視聴者の抗議にも関わらず、BBC はのべ 15 時間に渡る特別番組を 6 日から葬儀の 9 日にかけて放送しました。「葬儀報道の際は礼装をする」とコメントしていた BBC は、その 6 日からの特別番組からアナウンサーに礼服を着用させました。

王室やほかの報道機関の抗議に配慮した結果といえるでしょう。

[質問]

「英皇太后」の棺は、ウエストミンスター・ホールで 4 日間一般に公開されました。王室は弔問者数を「彼女の夫だったジョージ 6 世の 10 倍、チャーチル首相のときの 38 万人を越える 40 万人以上」と予想しました。さて、実際の弔問者数は何人だったでしょうか。

予想

- ア 40 万人以上
- イ 20 万人ぐらい
- ウ 10 万人以下



ウエストミンスター・ホールに安置された柩への弔問者たち
(Worldnews.com より)

王室の予想と反応

柩の公開は、4 日間といままでの最長期間で、途中から昼夜を問わず公開したのにもかかわらず、弔問に訪れたのは、16 万人でした。

このことについて女王は「多くの人が示してくれた敬意に圧倒される思いである。心から感謝する」とコメントし、「弔問者数は政府の予想を遙かに上回った」と報道するマスコミもありました。何かおかしいな反応です。

[質問]

日本では昭和天皇の葬儀の日は、法律により休日とされました。では「英皇太后」の葬儀の日、英国でもその日を休日にしたと思いますか。

予想

- ア 休日とした
- イ 休日にはしなかった



自分の旗で覆われた
Queen Mother の 柩
(AP)

葬儀当日

葬儀当日は、休日にはありませんでしたが、英国中のイベント、競馬、賭け事は中止され、スコットランドを除く裁判所の審理も行われませんでした。多くの観光施設なども、葬儀が終わった午後からの営業となりました。

学校は「登校させて、特別授業を行い、葬儀の様子をテレビで生徒に見せること」とされていました。

デパートやスーパーなども、社員は定刻に出社させたものの、午前中は休業状態で、社員には葬儀の中継を鑑賞させていたところがほとんどだったようです。

警察の広報官は、「この日葬儀のために外出した英国民は 100 万人を越えた」と発表しました。それは英国人口の 60 分の 1 です。

[質問]

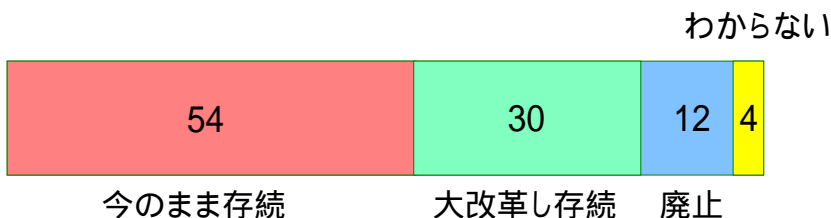
2001 年に行われた「王室の存続を問う」世論調査で「王室の廃止」を望む英国民は 34% でした。「英皇太后」死去のあと行われた同様の世論調査では、「王室の廃止を望む」という国民は増えたと思いますか。

予想

- ア あまりかわらなかった
- イ 半減した
- ウ 倍増した

世論調査の結果

「王室は廃止すべき」と答えたのは12%で去年の半数以下でした。「英皇太后死去」で王室に国民の同情が集まったのです。



存続肯定が84%いるようにも読めますが、廃止を含めて改革を求めているのも42%いるわけです。高齢者の方が若い人に比べて「存続肯定」が増えています。地域別では、「廃止肯定」はスコットランドが一番多く21%（「現状で存続」は48%）、その反対にウェールズでは9%（「現状で存続」は62%）でした。

マスコミはこの結果を「君主制廃止派激減」と報じましたが、来年の世論調査の結果はどうなるでしょうか。

オーストラリアでは、「英皇太后」死去により、「英国王を除いた共和制」を求める声が高まっています。というのも、現女王が第1王子kチャールズに王座を譲り「皇太后」となる日が近づいたからです。英連邦の維持には「女王」の存在が大きいのです。

おわりに

このレポートは、サークルの古山園美さんから「英皇太后死去で記帳をやっているとニュースで聞いたが、記帳は日本だけの習慣かと思った。本当にやっているのだろうか」という話を聞いたのがきっかけでまとめることができました。

「記帳」を表す英語がない（「condolence book = 弔問者名簿」というのはある）ので、ボクも気になって調べてみる気になったのです。また先日「皇室と国民の反応」というレポートを書いていたので、英国の場合と比較したくもなってきました。

日本の国民が関わる皇室の行事というと、たくさんの日の丸が目につきますが、「英皇太后死去」の英国では、ユニオン・ジャックはあまり見られず、「皇太后」の写真や花束が多かったのが印象的でした。これは、国民性の違いなのか、それとも王旗の存在が大きいのでしょうか。もしかしたら日本の皇室も、天皇旗をもっと使うと良いのかも知れません。

今回も数多くのニュースソースを調べて、このレポートをまとめることができました。「去年の世論調査の詳細」など、まだ見つけていない資料もあるのが残念です。

主なニュースソース

BBC ,The SUN ,Guardian ,News.com.au ,Worldnews.com , Independent など多くの報道機関 , 英王室サイト

反応をどうぞ

丸山 秀一

kasetsu.maruyama@nifty.com